係長以上に「柏原新聞」の講読を押し付け！年間160万円以上の購読料が「柏原新聞」に!!

柏原市役所では奇妙な風習が続いている。係長以上の職員に柏原新聞（代表　上田眞裕氏　柏原市安堂町1-29）を強制的に配布、購読料を徴収しているというのだ。計算すると推定160万円以上が柏原新聞に流れていることになる。

デスクの上に載せられて年間8000円の購読料を徴収

柏原新聞は、「新聞」と名をつけているが、日本新聞協会には加盟していない。週1回発行され、そのたびになぜか、柏原市役所の係長以上のデスクに置かれる。そして職員たちは年間8000円の新聞購読料を払わされているという。

係長以上の職員は柏原市では200名以上だから、市役所だけで年間160万円以上ものお金が柏原新聞の収入となっているのだ。

岡本市長派の議員をほめたたえ、市長の失策はけして載せない

新聞である以上、「正確と公正」さは必要不可欠であるが、柏原新聞の内容は驚くべきことが多い。

まずは岡本市長派の議員については、一方的にほめたたえているところである。ほかの意見の聞き取りをせず、岡本市長の言葉のまま、新聞に掲載している。

そして、岡本市長の失策は全く取り上げないのである。例えば、市民の猛反対にあって市が断念した「イノシシ屠殺場・食肉加工工場」の件は、柏原新聞には一切載せていない。また、6月6日、議会が議決した「三浦副市長否決」を無効とした再議書が、6月20日に岡本市長から出されたが、全員一致で議会が再度否決したことについて何事もなかったことのように全然ふれていないのである。

市長に反する議員は徹底批判！さらに無料で各戸配布はなぜだ!?

また、柏原新聞は岡本市長に反対する議員には徹底攻撃をする。標的的になった二人が濱浦佳子議員である。濱浦議員に対し事実無根の悪評を紙面いっぱいに並べ立て、濱浦議員自宅周辺にチラシのように投函するのである。もちろん、「講読をしていない家」に、無料でだ。

上田氏と岡本市長は、30年来の友人であると議会で岡本市長は発言されていた。上田氏は市の行事等にも来賓として紹介されている。岡本市長は、何故、上田氏を優遇するのか、市長の情報紙であるからか？

係長以上に強制購読させる？職員に中に「購読料を払わなかったら、何を書かれるかわからないから怖い」と言っている人もいる。柏原新聞など読まないのでゴミ箱の下に敷いていると言う人もおられると聞いている。職員にとってもいい迷惑だ！

（かしわら思張り番）

緊急報告　ひとごとではない！東日本大震災
「核爆発は起こっていた!?」

東日本大震災からまもなく半年。被災地の復興はまだまだ遠い。そしてもっと問題なのは、福島原発について、政府の報道が真実ではなかったということが徐々に見えてきたことである。情報が錯綜していたとはいえ、事実は隠されてきたのである。

もうすでに

「今朝早く、福島第一原発3号機でトラブル。そのため作業にあたっている全員が避難。本日、東電は枝野官房長官を通じて、『もう、われわれの手に負えない』と日本政府に申し入れた。そのため現在、日本政府は外交チャンネルを通じてロシアに支援を要請している。これらの情報からすると近いうちに3号機あたりが再び爆発し、東京を含め、関東地方が高濃度汚染する可能性が高まってきている。

（3月12日、フクシマ第一原発3号機爆発前の情報）

核爆発を予測した小出教授

3月12日、京都大学原子炉実験所の小出裕章助教授は「16時に爆発、炉心溶融が進行する」と発言。原子炉格納容器設計者の後藤政志氏（原子力資料情報室CNIC）は「圧力容器、格納容器は破損、炉心溶融の可能性がある」と記者会見で予測した。

海外からも

欧州放射能危機委員会クリストファー・バズビー教授。「3号機は核爆発だった可能性が高い。政府や東電が情報を隠蔽している可能性が高く、日本政府の対応も遅すぎる」と発言。「住民避難範囲は少なくとも60～70km圏であるべき」。70km圏内の放射能数値はチェルノブイリの避難区域よりもずっと高く、チェルノブイリ事故よりもはるかに多くの人口が危険にさらされていると指摘。

★原発を知るには、原子力反対40年の小出裕章さん（京都大学原子炉実験所　助教授）のユーチューブ（動画サイト）にて。詳細がわかります。

http://www.youtube.com/watch?v=4gFxKiOGSDk

はまうら佳子の元気が出るコラム

私は柏原市のみなさんのために、日々議会でいろいろな問題に取り組んでおりますが、議員としてどうあるべきかを常に考えています。

そこで有識者の方々の意見をインターネットで調べてみました。

東大教授で歴史学者の山内昌之氏は「指導者とは羞恥心を持ち、生活、仕事等を絶えず反省すべき存在であるべき」。成蹊大教授の高安健将氏（政治学者）は「国民やマスコミの多くが、権力者に国民と同じ日常感覚と家庭生活と同じ目線を求めるあまり『選良性』（より優れた人を選び出す）を求めなくなった。エリートが謙虚さを失い尊敬を受けなくなった…」。また、作家の佐藤優氏は、「ある知事の『独裁が必要だ』との発言が無批判に報道される状況は『民主主義を破壊する』関数体ができつつある」と述べています。報道にも問題があるという指摘ですが、民主主義の崩壊が始まりつつあるということ、これは由々しきことです。

私が肝に銘じなければと思ったのは「指導者とは羞恥心を持つ」「謙虚であること」「絶えず反省する」というところです。そして、ある知事同様、某市の某市長のような独裁政治は断固として許してはならないと決意を新たにしました。負けへんで～!

パトロール

雁多尾畑にある竜田古道の里山公園について、ある人が「入り口の管理棟にはキレイなトイレも完備し、さまざまな設備があるようだ。しかし2回訪れたが、来ている人は1組の家族しかいなかった」と述べていた。◆雁多尾畑は市民が憩いの場所にするには不便なところにある。なのに、ここには結構な予算が組まれているのご存じだろうか。多くの人が利用するなら問題がないが、ほとんど行く人もいないようなところに費用を出しても無駄金である。◆「ダチョウのヒナの購入費」に、なんと40万円も出していることがわかった。人里の離れた場所で何のために飼育するのか市民に説明をしてほしい。ダチョウを飼うなら専門的知識もいるスタッフが必要であるが、もうすでに何匹かのダチョウが死んだと聞いている。学識者のいるNPO法人「柏原ふるさと生き物の生態については、我々よりよくご存じであるはずだ。

みなさんの声　募集中です。

電話 072-977-5502
FAX 072-977-8782
〒582-0026 柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
info@kashiwara-mihariban.com